令和５年度　盛岡聴覚支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「チーム盛聴」：目配り、気配り、細やかな連携で着実な推進～

盛岡聴覚支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

１　現　状

［定量的現状】
・「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」
・R3年度：0人、R4年度：0人
「時間外在校等時間が月45時間超の職員の縮減」
・R3年度：11人、R4年度：0人
「時間外在校等時間が年360時間超の職員の縮減」
・R3年度：1名、R4年度：1名
［定性的現状］
・時間外在校等時間の多い教職員が固定している。
・行事の推進あるいは精選、業務見直し等の対応を行うために、各学部間、各校務部の一層の連携が求められる。

２　目標・目指す姿

<R5年度目標>
○「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」に掲げるR5年度の目標を達成します。
・時間外在校等勤務時間の縮減
（月100時間超：0人、月45時間超：0人、年360時間超0人）

<目指す姿>
（1）教職員一人一人が、やりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
（2）教職員が互いに情報交換を密にし、連携しあいながら業務にあたっている。
（3）教職員が明確な目標設定のもと、充実感を持って業務を推進している。
（4）業務の偏在・停滞が認められる際には、協力し分担しあってチームとして解決する。

３　（２を達成していくための）具体的取組内容

○　教職員の健康管理

・時間外在校等勤務時間や業務量等の物理的な負担の軽減に取り組みます。
・　管理職が、職員の健康管理や有休休暇の取得について積極的に声掛けをします。
・精神的な負担感の軽減対応のためにも「勤務状況確認シート」に係る面談の他にも、随時の面談を実施します。
・本人からの相談はもちろん、同僚が抱える困り感等についても相談しやすい職場環境を作ります。
・毎週金曜日を定時退庁日（盛聴フライデー）に設定し実施します。

○　学校における業務改善の推進

・会議のスリム化を図ります。（実施回数・時間短縮・簡潔な資料・会議終了時間の明記）
・行事等については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。
・日頃から気軽に相談しあえる雰囲気づくりを心がけ、お互いを尊重し支えあいながら、職員一人一人が充実感を味わえる職場づくりを推進します。
・衛生委員会等、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。

○　学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

・関係機関との連携協力のもと、教職員が子どもたちの教育活動に専念できる職場づくりを目指します。
・地域の文化資源を活用し、より効率的に子どもたちが広く、深く、様々な体験経験を積むことができるように工夫します。
・朝会時、全員が手話表現をしながら挨拶を交わし、職員全体で意欲的に聴覚支援教育に取り組む姿勢を確認しあって毎日の業務に取り組みます。

令和5年5月18日岩手県立盛岡聴覚支援学校　森山　学

（参考）「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」（抜粋）

【策定趣旨】
○　働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】
目標１　県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減
（1）　時間外在校等時間が月100時間以上の者を**ゼロ**にする。
・令和３年度実績　県立学校計　71名
・令和４年度実績（第３四半期まで）　県立学校計　21名

（2）　時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり**縮減**する。

時間外在校等時間	取組期間
	令和5（2023）年度
月45時間超	ゼロ
年360時間超	

目標２　業務への充実感や、健康面での安心感の向上
令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。